

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
胃癌 Nivolumab + FOLFOX療法(入院)		14日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1	① 生食50mL(プライミング用) ② 生食100mL + オブジーボ 240mg 体重30kg未満:総液量100mL以下とする 投与時0.2又は0.22 μ mインラインフィルターを使用 ③ 生食50mL(フラッシュ用) ④ 5%ブドウ糖液50mL + パロノセトロン0.75mg + デキサート6.6mg ⑤ 5%ブドウ糖液250mL + エルプラット85mg/m ² エルプラットとレボホリナートは同時滴下 ⑥ 5%ブドウ糖液250mL + レボホリナート200mg/m ² エルプラットとレボホリナートは同時滴下 ⑦ 5%ブドウ糖液50mL + フルオロウラシル400mg/m ² エルプラット、レボホリナート終了後開始 総量50mLにして5分で急速静注 ⑧ 5%ブドウ糖液500mL + フルオロウラシル2400mg/m ²		
d3	① 5%ブドウ糖液50mL(フラッシュ用) ② ヘパリンNaロック用シリンジ1000単位		
コメント			

プロトコールに関する解説
本療法は、切除不能・再発胃癌において、1次治療以降の治療で効果が示されている治療法です。臨床試験により、本療法はこれまでの標準療法(FOLFOX療法やCapeOX療法)に比べ、優れた治療成績が示され、切除不能・再発胃癌において新しい標準治療として認識されています。グレード3以上の副作用は、59%で認められました。免疫関連有害事象に注意する必要があります。副作用が強い場合は、減量、減薬や休薬などの調整が必要になることがあります。